



テクニック3

# 色は3色、ルールを決めよう

4年生

高学年からは色を少なく！

いま、ノートには色を何色使っていますか？ 色えんぴつやカラーペンは、ノートを書くことを楽しくしてくれます。低学年のうちは、いろんな色を使ってノートを書いてください。

でも、4年生になったら、どうしてもノートを書くのに、色を使うのかを考えてみてください。

色は、大切なことを目立たせるために使うのです。だから、たくさん色を使うと、どこがどれくらい大切なかわからないノートになります。

また、授業中や宿題をしているときに、色えんぴつやカラーペンであれこれと持ちかえていると、書くス

ピードが遅くなってしまう、集中力も切れてしまいます。

色は、ルールを決めて使う

ノートには、基本的に、えんぴつの黒、赤色、青色の3色で充分です。そして、色を使う場合は、えんぴつは「黒板の内容」、赤色は「いちばん大切なところ」、青色は「まあまあ大切なところ」というように、ルールを決めて使ってください。気分にかかると色を使っていると、見直したときに、どこがポイントなのか、わかりづらくなってしまう。

赤色と青色では足りない、という場合は、線を引いたり、線でかこんだりすることで、大切なところを目立たせることができます。

## 田 おうちの方へ

低学年はカラフルに、高学年以降はシンプルに

色ペンは、ノートづくりを彩ってくれるものです。低学年のうちは、いろんな色を使い、ノートを書くこと自体を楽しんでほしいと思います。しかし、年齢が上がるにつれて、色との付き合い方を考えなくてはいけなくなってきました。

ある東大生が言っていました。「低学年のころは、色をたくさん使っていました。でも、4年生のとき、『色をたくさん使っても使わなくても、理解できる量は変わらない。だったら、変なこだわりは捨てよう』と決めました。それから使う色の数を減らしました」。時期を見て、お子さまと一緒に何のためにノートに色を使うのか、どんな使い方をしたら見直しのしやすいノートになるのかを話し合ってみてください。

## えんぴつの黒色、赤色、青色でノートを書こう！

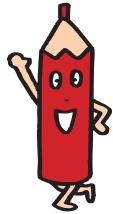
### ルールの例

えんぴつの黒色…



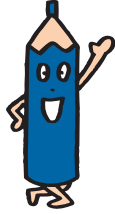
ノートのメインの内容で使うよ。授業のノートでは、黒板の内容を書いたり、問題を解くノートでは、問題と答えを書いたりしよう。

赤色…



とても大切な部分を目立たせるのに使うよ。先生が黒板に赤色などで書いたポイントを書いたり、問題を解いたとき丸をつけるのに使おう。

青色…



赤色以外で目立たせたいときに使うよ。授業のノートでは、自分でまあまあ大切だと思った部分を書いたり、間違えた問題を解き直したりするのに使おう。

## 色を使わなくても目立たせることはできる！

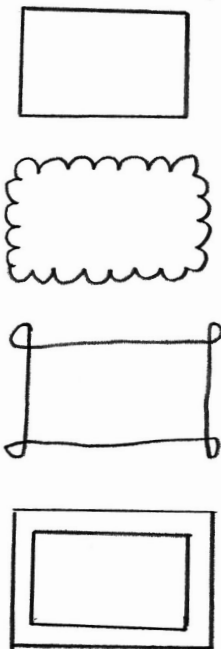
★えんぴつの濃さを変える

あいうえお  
あいうえお

★線を引く

- 直線
- 二重線
- なみ線
- 飾り線

★かこみを書く



色を使わなくても目立たせる工夫ができるんだね～

